

アンピノモス(Amphinomos)はペネロペの求婚者の一人で、オデュッセウスに殺される人物である。ドゥリキオンのニソス王の子。彼は求婚者の中では最も善人であり、オデュッセウスは屋敷から退散するよう警告したが、結局その場に留まり、討たれることになった。

系譜

- ・ 父はニソス。

解説

オデュッセウスでのエピソード

- ・ [オデュッセウス](#)が乞食の[イロス](#)に勝った時、アンピノモスはパンを彼に与えた。オデュッセウスは彼に求婚者たちの破滅を警告した。また、オデュッセウスが[エウリュマコス](#)と口論になった時、彼はその場をとりなしてやった。([第18歌](#))
- ・ 求婚者たちが[テレマコス](#)暗殺を企んでいた時、彼はそれを止めた。([第20歌](#))
- ・ 彼は剣を抜いて、[オデュッセウス](#)に躍りかかったが、[テレマコス](#)が背後から槍を投げて、胸を貫いた。([第22歌](#))